



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

聖書はあわれみについて何と言っているか?— パート2・ストロング番号付き欽定訳(KJV)聖句集

PART 2・聖書の基礎的教理に基づく新しい研究

あわれみ — 聖書の基礎教理

開会の言葉

聞きなさい。人が作ったすべての神は、機嫌を取られ、貢がれ、喜ばされねばならない。しかし生ける神が山の上に立ち、私たちにご自身の名を告げられたとき、彼は雷鳴から始められなかった。脅しから始められなかった。彼はまず何よりも先に、ご自身を「憐れみ深い」と呼ばれた。それから、信じがたいことを言われた。憐れみとは、彼がただ行うことではない。彼が喜びとすることなのだ。それは彼の喜び——子が走って家に帰って来たときの父の喜びのようなものだ。彼の憐れみは、底をつきかけた古い蓄えではない。それはあなたが目覚める前から、毎朝新しく用意される。なぜなら、それは決して絶えることのない真実さから流れ出るからだ。さあ、その憐れみがどのように向きを変え、あなたを見つめるかを聞きなさい。憐れみを喜びとする神は、あなたに、彼が愛するその同じものを愛するよう求められる——彼があなたに憐れみを示されるように、あなたも兄弟に憐れみを示すことを。あなたが罪を隠している間、彼はあなたの捧げ物を欲しがってはおられない。彼は千の燔祭よりも、一つの正直な、砕かれた心を望まれる。では、罪ある者はどうやって入って来るのか。よじ登ることによってではない。働いて勝ち取ることによってでもない。告白することによって——罪を覆い隠すのではなく、それを自分のものと認めることによって——遠くに立ち、恥じて目を上げることさえできず、ただ憐れみを求めた、あの砕かれた者のように。その者は神の前に正しいとされて家に帰り、一方、宗教的な者は空しいまま家に帰った。今、あなたが大胆に近づくことのできる御座がある——裁かれるためではなく、助けを受けるために。そこで見出す憐れみは、あなたの手を握って立ち去るようなものではない。それはあなたについて来る。あらゆる道を通り、あらゆる躓きを経て、あなたの生涯のすべての日、それはあなたについて来る——ついに家に帰り着くまで。そしてその家とは彼の家であり、その扉は決して閉じられない。これが、この学びがあなたの前に示す神である。これを深く探り求めなさい。

本研究が答える三つの問い:

1. 神が自ら御名を宣べられたとき、何を最初に名として挙げられたか。また、神は何を喜ばれるか。
2. 主は人に何を求めておられるか。そして、罪を犯した人はどのようにして憐れみを得るのか。

3. 憐れみは今どこで人と出会い、どこまで彼について行くのか。

既に据えられた土台 — 憐れみ

→ あわれみ(ヘセド)=契約関係から流れ出るあわれみ(創世記19:29;詩篇136篇)。

RACHAM = より大きな者からより小さな者へと流れる深い愛(創世記32:9-12)。

神の憐れみは、人が進もうとする限り、その人を導いて行く——そして、神の愛あるみ配慮を十分に確信するまで、そこにとどまり続ける(創世記19:17-22、ロト、ゾアルにて)。

人はすべての憐れみのうち最も小さいものにも値しない者である — 憐れみは賜物であり、その賜物は感謝をもたらす(創世記32:10)。

憐れみの究極の目的は救い、すなわち神の愛の完成である(創世記32:11-12)。

主に感謝せよ——その憐れみはとこしえに絶えることがない(詩篇136:1-26)。

パート2は、新たな一連の証人たちによって同じ真理を確認します。

ギリシャ語キーワード

“慈悲” — **G1656 eleos** — 苦しんでいる者に寄り添い、行動をもって示す親切心、あわれみ
神の憐れみは、単なる感情に留まることは決してない。それは動くものである——約束され、実行され、獲得され、そして御座において見出される。

“憐れみを示す” — **G2433 hilaskomai** — 宥めをなす、贖いをなす — 「贖罪所」に関する語群
tax collectorの祈りの全体は、この一語にかかっている。彼は血の場所で出会ってくださるようお願い、そして義とされて家に下って行った。

“憐れみ” — **G3628 oiktirmos** — 憐れみ、同情 — 憐れみが複数化されたもの
神は一つの憐れみの父ではなく、憐れみの父であられる—それも新しい憐れみ、朝ごとの憐れみである

ヘブライ語キーワード

“慈悲” — **H2617 chesed** — 契約的な慈しみ、確固たる憐れみ
契約の関係から流れ出る、決してやめることのない慈しみ — 土台そのものの言葉が引き継がれている

“慈悲深い” — **H7349 rachum** — 母胎(レヘム、rechem)と同じ語根を持ち、深い憐れみに満ちた
神が自ら御名を宣言される時、この胎から発する深い言葉が最初に来る——大いなる者が小さき者に対して抱く深い愛である

“赦す” — **H5375 nasa** — 持ち上げる、担う、運び去る
あわれみは罪を見過ごすものではない——それは罪人から罪を取り除き、運び去る(スケープゴートそのものの言葉、レビ記16:22)

“憐れむ” — **H2603 chanan** — 目下の者に対して親切に身をかがめる、または心を傾ける、恵み深くあること
大いなる罪を犯した後のダビデの叫び——恵みが罪ある人のところまで、はるばる下ってへりくだること

OPENING ANCHOR(冒頭のアンカー)

ミカ書 7:18 だれかあなたのように 不義をゆるし、その嗣業の残れる者のために とがを見過ごされる神があろうか。神はいつくしみを喜ばれるので、その怒りをながく保たず、

原語キー / **STRONG' S:** ■ H5375 nasa ・ ■ H2617 chesed

誰が汝のような神であろうか? → 彼はその怒りをとこしえに保たれず + 彼はあわれみを喜ばれる。

(私の個人的な考察——ここでの「赦す」はヘブライ語のナサ(H5375、「負う」)である。すなわち、持ち上げる、担う、運び去る、という意味である。憐れみは罪が存在しないかのように振る舞うのではない——それは罪を人から持ち上げ、運び去るのである。スケープゴート(贖罪の山羊)は、この同じ言葉によって、彼らの罪をすべて運び去った(レビ記16:22)。

I. 宣言された御名 — あわれみ深く、恵み深い

A. 出エジプト記 34:6 主は彼の 前を過ぎて 宣べられた。「主、主、あわれみあり、恵みあり、怒ることおそく、いつくしみと、まこととの豊かなる神、(7) いつくしみを千代までも施し、悪と、とがと、罪とをゆるす者、しかし、罰すべき者をば決してゆるさず、父の罪を子に報い、子の子に報いて、三、四代におよぼす者」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7349 rachum ・ ■ H2587 channun ・ ■ H2617 chesed ・ ■ H2617 chesed ・ ■ H5375 nasa

主はその前を通り過ぎて宣べられた→憐れみ深く、恵み深く、怒るに遅く、いつくしみと真実に富み+ 恵みを千代までも保ち、悪と背きと罪とを赦す。

(私自身の思い——神がご自身の名を宣言されるとき、「憐れみ深い」——ラクーム(H7349、憐れみ深い)、この胎を語根とする言葉が、他のすべてに先立って、まず最初に来る。憐れみは神の御名の玄関口である。)

B. 詩篇 86:15 しかし主よ、あなたはあわれみと恵みに富み、怒りをおそくし、いつくしみと、まこととの豊かな神でいらせられます。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7349 rachum ・ ■ H2617 chesed

あなたは慈しみあり、恵みある神→いつくしみと真実に富みたまふ。

C. 詩篇 86:5 主よ、あなたは恵みふかく、寛容であって、あなたに呼ばれるすべての者にいつくしみを豊かに施されます。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2617 chesed

善良で、赦す備えのある方→あなたを呼ぶすべての者に、豊かなあわれみを施される方。

D. ネヘミヤ記 9:17 従うことを拒み、あなたが彼らの中で行われた奇跡を心にとめず、かえってかたくなになり、みずからひとりのかしらを立てて、エジプトの奴隷の生活に帰ろうとしました。しかしあなたは罪をゆるす神、恵みあり、あわれみあり、怒ることおそく、いつくしみ豊かにましまして、彼らを捨てられませんでした。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7349 rachum ・ ■ H2617 chesed

彼らはかたくなになった→しかしあなたは罪をゆるす神であり、彼らを捨てられませんでした。

E. コリント人への第二の手紙 1:3 ほむべきかな、わたしたちの主 イエス・キリストの父なる神、あわれみ深き父、慰めに満ちたる神。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3628 oiktirmos

ほむべきかな=あわれみ深き父、慰めに満ちたる神。

II. 憐れみの尺度 — 朝ごとに新しく、天のように高く

A. 哀歌 3:22 主のいつくしみは絶えることがなく、そのあわれみは尽きることがない。(23) これは朝ごとに新しく、あなたの真実は大い。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2617 chesed ・ ■ H7356 racham

滅び失せないのは、その憐れみが尽きないゆえである→朝ごとに新しく+あなたの真実は大い。

(私の個人的な思い——「憐れみ」はヘブライ語のracham(ラカム)であり、rechem(レヘム)、すなわち「子宮」を意味する言葉と同根である。それは母の愛のように深い憐れみであり、上なる方から下なる者へと注がれる——そして、それは絶えることなく、朝ごとに新しい。)

B. 詩篇 103:8 主はあわれみに富み、めぐみふかく、怒ること遅く、いつくしみ豊かでいらせられる。(9) 主は常に責めることをせず、また、とこしえに怒りをいだかれない。(10) 主はわれらの罪にしたがってわれらをあしらわず、われらの不義にしたがって報いられない。(11) 天が地よりも高いように、主がおのれを恐れる者に賜わるいつくしみは大い、(12) 東が西から遠いように、主はわれらのとがをわれらから遠ざけられる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7349 rachum ・ ■ H2617 chesed ・ ■ H2617 chesed

私たちの罪にしたがって私たちをあしらわれることはなかった→天が地よりも高いように、その憐れみは大い+東が西から遠く離れているように、主は私たちのそむきの罪を私たちから遠く離れた。

C. ミカ書 7:19 再びわれわれをあわれみ、われわれの不義を足で踏みつけられる。あなたはわれわれのもろもろの罪を海の深みに投げ入れ、

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7355 racham

彼は再び顧み、我らを憐れみ給わん→彼らのすべての罪→海の深きところに投げ入れられん。

D. 申命記 4:31 あなたの神、主はいつくしみの深い神であるから、あなたを捨てず、あなたを滅ぼさず、またあなたの先祖に誓った契約を忘れられないであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7349 rachum

あなたの神、主は憐れみ深い神である。→ 主はあなたを見捨てず、契約を忘れることはない。

III. 求められる憐れみ — 憐れみ深き神が人に求めること

A. ミカ書 6:8 人よ、彼はさきによい事のなんであるかをあなたに告げられた。主のあなたに求められることは、ただ公義をおこない、いつくしみを愛し、へりくだってあなたの神と共に歩むことではないか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2617 chesed

主はあなたに何を求められるか → 公義を行い、憐れみを愛し、へりくだってあなたの神と共に歩むこと。

B. ホセア書 6:6 わたしはいつくしみを喜び、犠牲を喜ばない。燔祭よりもむしろ神を知ることを喜ぶ。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2617 chesed

わたしはいつくしみを喜び、犠牲を喜ばない → 燔祭よりもむしろ神を知ることを喜ぶ。

C. 箴言 3:3 いつくしみと、まこととを捨ててはならない、それをあなたの首に結び、心の碑にしるせ。

(4) そうすれば、あなたは神と人との前に恵みと、誉とを得る。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2617 chesed

それをあなたの首に結び、心の碑にしるせ。→ そうすれば、あなたは恵みを得る。

D. ゼカリヤ書 7:9 「万軍の主はこう仰せられる、真実のさばきを行い、互に相いつくしみ、相あわれみ、

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2617 chesed ・ ■ H7356 racham

互に相いつくしみ → 互に相いつくしみ、相あわれみ。

IV. 憐れみを得る — 告白し、叫び、大胆に來たれ

A. 箴言 28:13 その罪を隠す者は栄えることがない、言い表わしてこれを離れる者は、あわれみをうける。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7355 racham

その罪を隠す者は栄えることがない、言い表わしてこれを離れる者は → あわれみをうける。

B. 詩篇 51:1 神よ、あなたのいつくしみによって、わたしをあわれみ、あなたの豊かなあわれみによって、わたしのもろもろのとがをぬぐい去ってください。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2603 chanan ・ ■ H2617 chesed ・ ■ H7356 racham

神よ、我を憐れみたまえ--汝の慈しみの豊かなるにしたがいて、我が咎を消したまえ。

C. ルカによる福音書 18:13 ところが、取税人は遠く離れて立ち、目を天にむけようともしないで、胸を打ちながら言った、『神様、罪人のわたしをおゆるしてください』と。(14) あなたがたに言うておく。神に義とされて自分の家に帰ったのは、この取税人であって、あのパリサイ人ではなかった。おおよそ、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるであろう」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2433 hilaskomai

神よ、罪人なる我を憐れみたまえ —— この人は義とされて家に下り行けり。

(私個人の思い——ここでの「慈悲を"be merciful"」は、慈悲を表す一般的な語ではない。それはヒラスコマイ(G2433、be merciful)——贖罪所の語、宥めの語である。この取税人は、神が贖罪所の上でイスラエルに会われたのと同じように、自分に会ってくださるようと神に願った——そしてその人は義とされて家に帰った。)

D. ヘブル人への手紙 4:16 だから、わたしたちは、あわれみを受け、また、恵みにあずかって時機を得た助けを受けるために、はばかりことなく恵みの御座に近づこうではないか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1656 eleos

大胆に恵みの御座に來たれ —— あわれみを受け、また時にかないで助けとなる恵みを見出さんために。

二人の口——同じ名が、二人と三人目の口によって確立される

ヨエル書 2:13 あなたがたは衣服ではなく、心を裂け。あなたがたの神、主に帰れ。主は恵みあり、あわれみあり、怒ることがおそく、いつくしみが豊かで、災を思いかえされるからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7349 rachum ・ ■ H2617 chesed

あなたの心を裂き、主に立ち帰れ——主は恵みあり、あわれみあり、怒るに遅くあられるからである。

ヨナ書 4:2 主に祈って言った、「主よ、わたしがなお国におりました時、この事を申したではありませんか。それでこそわたしは、急いでタルシシにのがれようとしたのです。なぜなら、わたしはあなたが恵み深い神、あわれみあり、怒ることおそく、いつくしみ豊かで、災を思いかえされることを、知っていたからです。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H7349 rachum ・ ■ H2617 chesed

我はあなたが恵み深く、あわれみ深い神であることを知っていた。それゆえ、私は逃げた。

同じ名でも、二つの心:ヨエル→あなたがたの心を裂きて、主に帰れ;ヨナ→われ先にタルシシへ逃げたり。

詩篇 145:8 主は恵みふかく、あわれみに満ち、怒ることおそく、いつくしみ豊かです。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H7349 rachum ・ ■ H2617 chesed

主は恵みふかく + あわれみに満ち + 怒ることおそく + いつくしみ豊かです。

(私個人の考え——二人の証人の口によって言葉は確立される、そしてここに第三の口がそれを確認する。三つ撚りの綱は簡単には切れない。向きを変えた預言者、逃げた預言者、そして歌った詩篇、そのすべてが同じ名を宣べ伝える。その名は確かに立つ、それを聞く人の心がどうであろうとも。)

影と実現

Shadow ミカ書 7:20 昔からわれわれの先祖たちに誓われたように、真実をヤコブに示し、いつくしみをアブラハムに示される。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H2617 chesed

あなたはアブラハムに誓われた慈しみを、いにしえの日々より我らの父たちに対して果たされる。

Fulfillment ルカによる福音書 1:72 こうして、神はわたしたちの父祖たちにあわれみをかけ、その聖なる契約、

原語キー / **STRONG' S:** ■ G1656 eleos

こうして、神はわたしたちの父祖たちにあわれみをかけ → その聖なる契約。

(私の個人的な思い——昔からの日々に誓われた憐れみは、キリストが来られたときに成し遂げられた憐れみである。それは契約の憐れみであり、一字一句たがわず守られたものである。)

閉会

詩篇 103:17 しかし主のいつくしみは、とこしえからとこしえまで、主を恐れる者の上にあり、その義は子らの子に及び、

原語キー / **STRONG' S:** ■ H2617 chesed

しかし主のいつくしみは、とこしえからとこしえまで、主を恐れる者の上にあり。

詩篇 23:6 わたしの生きているかぎりには必ず恵みといつくしみとが伴うでしょう。わたしはとこしえに主の宮に住むでしょう。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H2617 chesed

わたしの生きているかぎりには必ず恵みといつくしみとが伴うでしょう → わたしはとこしえに主の宮に住むでしょう。

(私の個人的な思い——ここに、この研究全体を一行に込めてみたい。神が御自身の名を告げられたとき、他の何よりも先に「憐れみ深い」と言われた。そしてそれ以降のすべては、その最初の言葉が働き出した結果に他ならない。憐れみとは、来ては去る気分ではない。それは朝ごとに新しく、天が地よりも高いように高く、東が西から遠いように罪を遠ざける。それほどまでに憐れみに満ちておられる神は、御自身が造られた人にただ一つのことだけを求められる——神が愛されるものを愛し、それを兄弟に示すことである。罪ある者が自分の罪を隠さず、告白し、這い上がるのではなく泣いてすがるとき、憐れみは彼を迎える——そして戸口で彼を置き去りにはしない。それは彼の生涯のすべての日、主の家へと彼を導き入れるまで、彼につき従う。永遠から永遠に至る憐れみは、始めた人をなし遂げるまで止まることがない。)

練習クイズ

1. ミカ書7章18節 — 神はいつくしみを喜ばれるので、その怒りをながく保たず

- a) いけにえ
- b) いつくしみ
- c) 燔祭

2. 哀歌 3:22-23 — そのあわれみは尽きることがない。これは朝ごとに新しく:

- 朝
- b) 世代
- c) 日

3. ミカ書 6:8 — 主のあなたに求められることは、ただ公義をおこない、いつくしみを愛し、そして

- a) 全焼のいけにえをささげる
- b) それらをあなたの首に結びつけよ
- へりくだってあなたの神と共に歩む

4. 箴言 28:13 — しかし、言い表わしてこれを離れる者は:

- a) 栄えない
- あわれみをうける
- c) 恵みを見出す

5. ヘブル人への手紙 4章16節 — はばかりことなく恵みの御座に近づこうではないか、それは、わたしたちが:

- a) 他の者よりもむしろ義とされた
- b) 主の家に住むこと
- あわれみを受け、また、恵みにあずかって時機を得た助けを受ける

6. 詩篇 103:11 — 天が地よりも高いように、主がおのれを恐れる者に賜わるいつくしみは大きい、

- 彼を恐れる者
- b) 彼の嗣業の残りの者
- c) 汝を呼ぶ者すべて

7. ルカ 18:13-14 — 神様、罪人のわたしをおゆるしてください:あなたがたに言うておく、この取税人は自分の家に帰った:

- a) 高められた
- 謙卑にされた
- 義とされた

解答:1-b、2-a、3-c、4-b、5-c、6-a、7-c

このスタディの分岐

影が光をもたらす仕方:山で語られた御名——憐れみあり恵みあり(出エジプト記34:6)——は影であった。キリストが来られた時に行われたその同じ憐れみ(ルカ1:72)は光である。神がかつて雲の中で宣べられた御名を、神は最後に一つの顔として示された。

新しい契約がそれを明らかにする方法:律法の下では、彼の憐れみは幾千代に及ぶまで保たれ、アブラハムに誓われた。キリストにおいて、その誓われた憐れみは実行され、恵みの座が開かれ、どんな人でも大胆に来ることができる(ヘブル4:16)。契約の憐れみは開かれた門となった。

→言葉そのものが物語る。御名における「あわれみ深い」はラーフーム(H7349, MERCIFUL)、すなわち母の胎を語る言葉であり、それが第一に置かれている。「赦す」はナーサー(H5375, TO BEAR)、担い上げて運び去ることを意味する。取税人の唇にのぼる「あわれんでください」はヒラスコマイ(G2433, BE MERCIFUL)、贖罪の座を語る言葉である。言葉そのものが、入るべき道を宣べ伝えているのである。

これがユダヤ人と異邦人にどのように関わるか:イスラエルの先祖たちに誓われた憐れみと、蔑まれた取税人が叫び求めた憐れみは、同じ憐れみである(ルカ1:72、18:13)。憐れみは血筋によっても価値によっても閉ざされることはなかった——告白して悔い改める者は、それを見出す(箴言28:13)。

このことがあなたにどう当てはまるか:取税人のやり方で来なさい——登ろうとせず、演じようとして、ただ告白することによって。あなたが隠したい罪を明らかにせよ。あなたが明らかにするものを、憐れみが覆ってくれる。そして、それを得たなら、それはあなたと共に家まで従いて来る。

これが永遠にとって意味すること。恵みと慈しみは、この人生の日々の限り、ついて来る。そしてその道は、とこしえに主の家で終わる(詩篇23篇6節)。その慈しみは、永遠から永遠に至る(詩篇103篇17節)——それは、あなたを導き入れる前に、絶えることも、終わることもない。

脱線:憐れみが得られる恵みの座(ヘブル人への手紙4:16)は、幕の内側にある贖罪所へと続いている——これは「LIVING IT OUT」スタディでさらに詳しく取り上げられている(出エジプト記25:17-22;ヘブル人への手紙9:5)。

啓示の可能性：取税人の「神よ、憐れみたまえ」という言葉は、一般的な憐れみを表す言葉ではなく、贖罪所を表す言葉、宥めを表す言葉である。彼は血の注がれる場所で神に会うことを求め、義とされて家に下って行った。憐れみには常に、出会いの場所があった。
(私個人の考察)

救われるためには何をしなければならないか

「救われるためには何をすべきか」という私たちの聖書研究をご覧ください

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.
Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).
Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0); Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).
Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).
© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).